

平成30年2月23日

保護者の皆さま

吹田市立千里第一小学校
校長 宮前 桂子

「こんな学校がいいな」アンケート結果のお知らせ

余寒の候、保護者の皆さまには益々ご健勝のことと存じます。平素は本校教育推進のため、ご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に実施しました学校教育自己診断「こんな学校がいいな」アンケートにつきまして、ご協力ありがとうございました。択一部分の集計および記述部分についての回答ができましたのでお知らせいたします。

毎年実施しています学校アンケートは、実施することが法的に定められているだけでなく、保護者の方々からの直接の評価をいただくことで、学校改善につなげていける貴重な機会です。保護者の方々からいただいたご意見は各学年で集約し、その一覧をすべての教職員が目を通し、「学校改善に生かせるもの」「学校としての説明不足のもの」「さまざまな意見があると言う意味で参考にするもの」等に分類し、日々の学習指導や学校運営に生かしています。いろいろなご意見がある中で、これまでも学校としての一つの方向をお示ししてきました。すべての方々に納得していただくことはなかなかできませんが、今後も保護者の皆様方のご意見を参考にしながら、学校運営を進めてまいります。

【 集計について 】

回答数	保護者	————	683名	(児童数	753名)
	記述者数	————	25名		
	低学年児童	————	360名	(低学年児童数	361名)
	高学年児童	————	402名	(高学年児童数	406名)

【 児童アンケート 】

- ・ A よくあてはまる B ややあてはまる を合わせてプラス評価
C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない を合わせてマイナス評価
として、分析しています。

< 択一部分については、後半にまとめて、3年間のアンケート結果を比較する形でグラフを入れ、データを示しています。 >

○特徴的な傾向のもの。

□ プラス評価が80%以上である項目

《低学年》

- 項目 1 「がっこうへいくのがたのしい。」
項目 2 「じゅぎょうはわかりやすく、たのしい。」
◎項目 4 「がっこうで、いのちのたいせつさや、ともだちへのおもいやりをまなぶことができる。」
項目 6 「せんせいは、いじめなど、こまっていることについてはなしをきいてくれる。」
項目 7 「せんせいは、がんばったときにほめてくれる。」
項目 8 「クラスのせんせいのほかにも、おはなしできるせんせいがいる。」
項目 11 「じしんやかじなどがおきたとき、どうしたらよいかをしっている。」

《高学年》

- ◎項目 1 「学校に行くのが楽しい。」
◎項目 2 「先生は教え方に工夫してくれる。」
項目 3 「授業はわかりやすく、楽しい。」
◎項目 5 「学校で、命の大切さや友だちへの思いやりを学ぶことがある。」
項目 7 「先生は、いじめなど、困っていることについて対応してくれる。」
◎項目 8 「先生は、がんばった時にほめてくれる。」
◎項目 13 「地震や火災などが起こった時、どうしたらよいかを知っている。」

※ ◎印は、プラス評価が90%を超えている項目です。

低学年高学年ともに、「学校に行くのが楽しい」と「授業がわかりやすく、楽しい」のプラス評価が80%を超えています。また、「先生は、頑張った時にほめてくれる」は低学年89.5%、高学年91.6%です。「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」は昨年度よりプラス評価が多くなっています。これらの変化は、児童が様々な場面で活躍しており、主体性を持って学習に取り組んでいるためだと考えます。加えて教職員についても教育活動全体の中で児童の良さや頑張りを評価するよう努めているためだと考えます。

本校では、「自分の考えを伝え合う子どもを目指して」をテーマに研究を行い、指導に活かしています。「教師が質問（発問）し、児童が答える」という授業にとどまらず、児童と児童が自分の考えを伝え合えるような授業を目指しています。各教科等の授業において児童と児童を繋ぐ支援を行うことで、児童の思考力や判断力、表現力をより一層育んでいきたいと思えます。

今後も、児童が主体となる学習を進めていくことができるよう研鑽を重ねてまいります。